基礎工学研究科生物工学専攻修士課程 履修モデル

科目名に下線のある専門科目は原則として偶数年度に「〇〇特論1」を開講
科目名に下線のない専門科目は原則として奇数年度に「〇〇特論1」を開講

講義 標準履修年次は全科目1～2年					
教養科目		専門科目		必修科目（研究指導）	
前期	後期	前期	後期		
Materials Science and Technology Overview 2: Inorganic Materials 技術英語表現法演習 技術英語表現法概論 Basic Discussion and Presentation 1 Discussion and Presentation 1 キャリアデザイン考究 国際政治学特論 現代物理学特論 物理学から見る理学の世界1	Materials Science and Technology Overview 1: Metals ウォーターサイエンス特論 Basic Discussion and Presentation 2 Discussion and Presentation 2 知的財産特論 知財戦略特論 プロセッサアーキテクチャ特論 イノベーション・チーム・ラボ 生物科学特論	免疫工学特論1･2 植物遺伝子工学特論1･2 分子遺伝学特論1･2 構造生物学特論1･2	ゲノム情報生物学特論1･2 生体高分子学特論1･2 細胞工学特論1･2	M1	生物工学特別演習1A･1B 生物工学特別実験1A･1B 生物工学特別輪講1A･1B
Materials Science and Technology Overview 3: Polymer 現代物理学特論 科学技術研究の倫理 物理学から見る理学の最前線1 物理学から見る理学の未来1 実践的リーダーシップを学ぶ	物理学から見る理学の世界2 Materials Science and Technology Overview 4: Composite Materials 計算機設計特論 物理学から見る理学の最前線2 物理学から見る理学の未来2	細胞活性物質特論1･2 発生工学特論1･2 再生医工学特論1･2 生体機能物質化学特論1･2	環境植物学特論1･2 蛋白質工学特論1･2 糖鎖工学特論1･2	M2	生物工学特別演習2A･2B 生物工学特別実験2A･2B 生物工学特別輪講2A･2B

【修了要件】

必修22単位、教養科目4単位、専門選択科目4単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。

【参考】 必修科目
生物工学特別演習1A･1B、2A･2B
生物工学特別実験1A･1B、2A･2B
生物工学特別輪講1A･1B、2A･2B

備考：

修士課程では、学部での基礎・専門教育に続けて、様々な分野の専門性をさらに高め修士論文研究を完成させることを目的として、特に基礎科目は設置せず、全科目1，2年両方で履修できる形式としている。M1後期においては、複数の教員による中間審査を実施している。

【修了後の進路】

食品・医薬・システムエンジニア・教員等の業種を問わない幅広い分野での、主としてバイオテクノロジーを基盤とした生物工学や生物に関する高度な知識と研究能力を活かせる研究職・技術職・教育職